



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net



「なんにわ」で、ちょっとブームのアイロンビーズ

居場所と学びの年末年始

毎年あわただしく過ぎる12月。今年の居場所もいくつか行事が続き、にぎやかな年末でした。

■ 24日(月):「トム・ソーヤ」の「クリスマス会」に参加
「道の駅・ニコニコ本陣」近くの「放課後等デイサービス トム・ソーヤ」は「なんにわ・子どもの居場所」から国道119号線に向かって徒歩10分くらい。連携してサポートを行っている子どもたちが数人通っており、「イベントにおいでよ」と誘われて参加しました。手作りのお菓子やコーヒーの模擬店があり、ボードゲームで元気に遊ぶ子どもたちの姿が印象的でした。
(「トム・ソーヤ」については以下のアドレスをごらんください)

<http://ss-seminar.net/what-is-ss/day-service>

■ 26日(水):なんにわ・お楽しみ会

この日は「お楽しみ会」を開こうということになっていて、学校は冬休みに入ったのに、「みんな集まるかなあ」と心配だったけれど、スタッフも入れて20人を超える参加がありました。メニューは「たこ焼き」。子どもたち、若者たち、保護者の方々、それぞれができることを受け持って、材料を切ったり混ぜたり、テーブルを準備したり。はじめてこの居場所に来てくれた小学生もいっしょに、たこ焼きパーティを楽しみました。

いつものようにフォークギターをBGMのつもりで弾いていたら、しばらくぶりの青年が「最近、エレキギターを買って練習している」とのこと。「目標曲を決め、最初から最後まできっちりできるように、練習するのがよい。エレキなら指の負担も少ないから、集中すれば1週間くらいでなんとかなるよ」とアドバイス。50数年前、ギターで「ブルー・シャトゥ」とか、適当にやっつけていたけれど、ちゃんとアルペジオで練習したのは、フォークソングの基本コードがみんな入っている、岡林信康の『手紙』という曲だった…。そんな昔話の周りでは、たこ焼きをほおぼり、ボードゲームやカードゲームを楽しむ小中学生の姿がありました。

■ 28日(金):居場所の大掃除

金曜日は午後4時から、利用者とスタッフでお掃除をして、居場所を閉めます。今日はとくに念入りに大掃除。それぞれが、玄関の掃除、窓拭き、ホコリ払いなど、とくに分担などしていないのに、さっと始まり、きれいになりました。

お正月が過ぎ、居場所は7日に始まりました。

■ 1月11日(金):学びサポート

毎週金曜日、午後7時から9時まで、市民活動支援センターでやっている「学びサポート」。1月4日はお休みして、11日がスタートです。ひと昔前は、お勉強そっちのけでトランプ、花札、カルタなどで、遊んでいたときもありましたが、最近は数人の小学生、中学生が学校のプリントやドリルに取り組んでいます。近頃の小学校算数「図形」は、「合同・相似」だけでなく、「点対称/軸対称」という単元があり、「正三角形は対称軸が3本、正方形は4本...」、こっちはわからなくなる。いっしょに考えていくうち、ふと、「対称軸が無限に引ける図形って何?」と聞いてみたら、ちょっと考えて「まる」と答えた小学生。「むむ、軸対称を理解し、極限操作もできそうだ。小学生もなかなかだなあ」と思った一瞬でした。週1回の2時間、短い時間ですが、「ひらめき」を大事にして、サポートを続けたいと思います。(手塚)

子育て・親育ちの茶話会

場所：子どもの居場所(日光市平ヶ崎)

日時：毎月第2月曜日(午前10時~12時)

次回の予定はお問い合わせください。

参加費：300円(お茶代)

同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合いましょう。「一人で悩まず、みんなで！」を合い言葉に。(Tel:090-3227-7079)

目次

居場所と学びの年末年始	1
福祉サービスを使って働く	2
活動報告	3
ふたご座流星群の夜	3
こんな本はいかが? 44	4

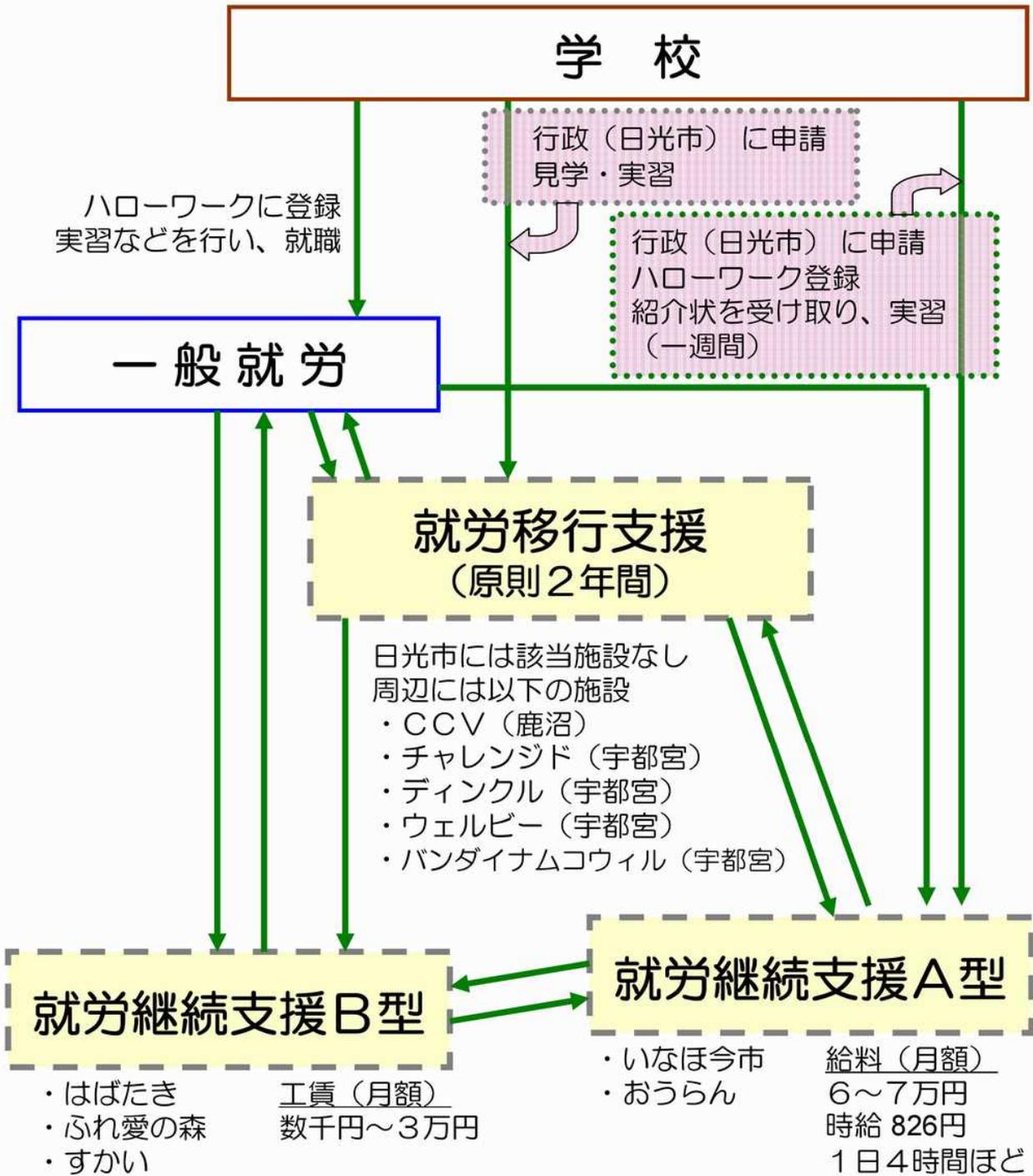
居場所のひとこま

寒くなってきた11月の末日。こたつを囲んで、あったかい部屋でお好み焼きを食べたい! さっそく台所でキャベツを切り、材料を混ぜ合わせ、トッピングも考えました。お茶の間に運んで、鉄板をセット。みんな焼きたがりを待っているところです。(N)



福祉サービスを使って働く（試用版）

「『さくらそう』って、どんなことをしているの?」と聞かれることがあります。さくらそうの活動と日光地区の現状を合わせて図示してみました。まだ試用版です。直してほしい点、説明不足の点など気づいたことがありましたら「なんとなくのひろば」にお知らせください。



← この枠内が福祉サービスの項目です。

利用には「サービス等利用計画書」の作成が必要になります。

「さくらそう」が事業所と行政と調整、利用者との相談を行います。

就労移行支援：就職を希望する方に、就労に必要な知識や能力を向上させるための訓練を提供します。

就労継続支援A型：一般就労は困難でも、雇用契約にもとづいて就労可能な場合

就労継続支援B型：一般就労が困難であり、雇用契約を結ばずに就労する場合

- 10月31日(水) 通信「なんとなくのひろば・第53号」発行
- 11月 7日(水) 第86回 理事会
- 11月11日(日) かがやき講演会「子どもの話を聞けていますか?」講師: 斉藤三枝子氏 (KHJとちぎベリー会理事長)
- 11月11日(日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 11月12日(月) 茶話会(第87回)
- 11月18日(日) こどもの虐待をなくそう! 県民のつどい 参加
- 11月19日(月) 教育長さんと面談(市教委・午前9時半~10時)
- 11月25日(日) ベリー会: 学習会
- 11月30日(金) つくって食べよう! (お好み焼き)
- 12月 8日(土) ワカモノフェスタ実行委員会(前日準備)
- 12月 9日(日) ワカモノフェスタ(宇都宮市)
- 12月10日(月) 茶話会(第88回)
- 12月14日(金) いのくら児童クラブ「星を見る会」に協力
- 12月18~19日(火・水) 罪を犯した障害者・高齢者等の包括的支援に向けて・つくば国際会議場
- 12月21日(金) 教育支援訪問(帷子先生来所)
- 12月23日(日) ベリー会: 学習会
- 12月24日(月) 「トム・ソーヤ クリスマス会」に参加
- 12月26日(水) お楽しみ会(たこ焼き)
- 12月28日(金) 子どもの居場所・大掃除
 - 1月 7日(月) 子どもの居場所・2019年の開始
 - 1月 9日(水) 第87回 理事会
 - 1月25日(金) つくって食べよう! (スパゲッティ・ペペロンチーノ)
 - 1月27日(日) ベリー会: 学習会



(上): 利用者さんからいただいた寄せ植え
居場所の玄関できれいな花を咲かせています

(下) 居場所でのミニ実験
銅イオンがマイナス極に引っ張られているのが
見えますか? (矢印の指す細い曲線)

さくらそう関連の勉強会など

日光市相談支援専門員連絡会

- 11月28日(水) 主任介護支援専門員・相談支援専門員合同研修会
- 1月23日(水) 法テラスってなあに

県西圏域相談支援事業者等連絡会

- 11月16日(金) 処遇困難事例の対応「よりよい支援のために ~処遇相談~」

日光市障害者自立支援協議会(事例検討会議)

- 11月12日(月)、12月13日(木)、1月17日(木)

しゃべっぺの会~スキルアップ勉強会~

- 11月 1日(金) 「親いるうちの安心を考えっぺ」~起こり得るリスクに備えっぺ~

ふたご座流星群の夜

昨年12月13日~14日は、ふたご座流星群の極大時期でした。「いのくら児童クラブ・星を見る会」はこの日に合わせ、14日夕方から行うことにしました。流星の観測に適しているのは午前0時過ぎだけれど(☆)、小学生の観測可能時刻としては仕方ありません。

まず、室内で「流星群って何だろう、どうやって観察するのか」といった話をしました。

(1) 望遠鏡(ぼうえんきょう)はいらない。10分くらい、暗さに目を慣らしましょう。

(2) 見る方向はふたご座に向いていなくてもよい。

(3) 午後9時頃からは1分間に1個くらい見える。遅い時間ならもっとよいけれど...

話しているうちに外はすっかり暗くなり、庭に出ました。見上げると、雲の切れ間から星がのぞくといったお天気でした。「冬の大きな三角形」などの1等星を探しながら、数個の流星に出会えました。流れ星観察の合間に、月齢7日の月、オリオンの三ツ星、スバルなどを小さな望遠鏡で観察しました。それと、南の空にぼつんと青く光る一等星、幸せを呼ぶという、「フォーマルハウト」を見ることができたのも収穫でした。

観察会を午後7時に終えて、市民活動支援センターでの「学びサポート」に移動。学習を終えた数人の子どもたち、お迎えの保護者の方とのミニ観測会は、残念なことに、ほとんど雲に覆われ地平近くにシリウスがみえるくらい。晴れた冬の夜空は一等星が多くにぎやかです。この機会にと、全天一等星の表を作りました。(*)は日本から見えない星座です。ただし、「アケルナル」は石垣島に行かないと見えないそうです。全天の一等星がどこにあるか、1年かけて探してみるのも一興かもしれませんね。(T)

(☆) 地球はおおよそ秒速30kmで太陽の周りを回っています。彗星がこぼした小さな砂粒が多く浮いている場所に入ると砂粒は流れ星になります。これが流星群です。走る自動車のフロントガラスによりたくさんの雨粒が当たるように、観察場所が公転方向の前方になる夜半過ぎに、流星は多く見えます。

- アークトゥルス (うしかい座α)
- アケルナル (エリダヌス座α)
- アルタイル (わし座α)
- アルデバラン (おうし座α)
- アンタレス (さそり座α)
- カノープス (* りゅうこつ座α)
- カペラ (ぎょしゃ座α)
- ケンタウルスα (* ケンタウルス座)
- ケンタウルスβ (* ケンタウルス座)
- シリウス (おおいぬ座α)
- スピカ (おとめ座α)
- デネブ (はくちょう座α)
- フォーマルハウト (みなみのうお座α)
- プロキオン (こいぬ座α)
- ベガ (こと座α)
- ベテルギウス (オリオン座α)
- ポルクス (ふたご座β)
- みなみじゅうじ座α (*)
- みなみじゅうじ座β (*)
- リゲル (オリオン座β)
- レグルス (しし座α)

特定非営利活動法人 なんとなくのになわ 通信

〒321-1261 栃木県日光市今市378
電話 090-3227-7079 / email: info@nantonakuno.net
ホームページ <http://www.nantonakuno.net/>



こんな本はいかが？ その44:

2017年芥川賞、2018年/2016年本屋大賞の作品

今回は、2017年の芥川賞の作品と2018年と2016年の本屋大賞の作品を紹介します。

◎「おらおらでひとりいぐも」若竹千佐子・著 河出書房新社 (2017年)

これは2017年の芥川賞受賞作品です。著者の若竹さんは63歳の主婦です。岩手県遠野市のお生まれで、子育てが一段落した後、小説講座に通い始め、この作品を生み出すことになったそうです。この題も東北弁で、「私は私で1人で生きていければ」と言う意味です。

主人公の桃子さんは70代で1人暮らし。夫を亡くした後の晩年の生き方を描いた作品です。東北弁の温かさとかこひょうきんな桃子さんの感じ方と、最後にたどり着く自由さ。年をとることで不自由さも多くなるけれど、亡くなった人たちと、心の中でいろんな会話をしながら生きていくんだという軽やかな考え方がいいなあと思いました。

◎「かがみの孤城」辻村深月・著 ポプラ社 (2017年)

これは2018年、本屋大賞に選ばれた作品です。

部屋に閉じこもっていた中学生の主人公ころ。ある日突然、目の前で鏡が輝きだします。その鏡をくぐりぬけた先にお城のような不思議な建物があり、そこには、ちょうどころと同じような境遇の中学生7人が集められています。

ファンタジーの色合いを持ったこの作品は、中学生という年代の危うさと残酷さ、そして、現代特有の孤独さなどが切実な表現で描かれています。子どもたちを取り巻く、なんとも言えない空気。なぜ不登校が増え続けるのかが、少しずつ分かってくるように思います。子どもを持つ親たち、先生たち、多くの大人たちに読んでもらいたい本です。

◎「羊と鋼の森」宮下奈都・著 文藝春秋 (2015年)

これは2016年、本屋大賞に選ばれた作品です。去年、映画化もされました。

ある日、偶然にピアノの調律を見た主人公の青年が、調律という仕事に魅せられていきます。そして、彼が調律師として成長していく姿を温かく描いています。

この青年がピアノを習っていたわけでもないのに、調律という仕事に魅力を感じていく姿が、とてもいいと思いました。なぜだかわからないけれど、心をつかまれることってあるように思います。この主人公にとって、生まれ育ったなつかしい森とピアノから感じられる森の匂いにつながっているのです。私はこの本を読んで幸せを感じました。(白井)

私たちの活動目的:

日光市とその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して、学習や自立のための支援活動と地域への啓発活動を行い、社会に出た後も継続性のある、支援と学びの場を作り出します。

私たちの事業:

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、自然環境保全の大切さを啓発する活動
- ⑦ 障がいの理解および啓発に関する企画運営事業
- ⑧ 第二種社会福祉事業の相談支援事業経営

会員について

正会員: 48

賛助会員: 19

団体会員: 4

入会金なし

年会費(一口)

正会員 3,000円

賛助会員

個人 5,000円

団体 10,000円



私たちの活動は会費と寄付金でまかなわれています。会員を継続し、応援よろしくお願いします。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接関わることができます。みなさまの積極的な参加をお願いいたします。

なんとなくのへや

ラジオを録音してひまなときに聞いています。昔はラジオをレコーダーにつないでタイマーをセットしてなどなど、とても面倒だったことが、インターネットラジオとPCの組み合わせで、かんたんにできてしまいます■使っているのは「ネットラジオレコーダ」というソフト(同じような機能を持つ無料ソフトもあります)。起動すると1週間のラジオ放送プログラムが表示され、そこから番組を選び録音予約します。予約番組の放送が終わると、自動的に音声ファイルに保存されるのでとても便利です■FMの音楽番組の録音、NHK第二「名作の朗読」の記録などラジオの使い方が広がります。「放送大学」の1回45分の講義も要チェックです。興味が持てそうなものを録音し、時間のあるときに聞くことができます。放送大学は同じ講義を何度も繰り返しているため、週1回、放送日程を確認し予約しておけば、1講座15回のコレクションが完成し、第1回からゆっくり聞くことができます。いま聞いているのは「日本文学の名作を読む」■全国放送はもちろん、地方限定のミニFMなども選局できるネットラジオと録音ソフトは、放送時刻にとらわれず、自分なりの学びの形を作れるという点でも、おすすめです。(T)